

1 背景とねらい

宿根かすみそうは冷涼な気候を好む作物で、特に生育開花期に高温に遭遇すると品質低下が著しく収量も極端に低下する。

そのため夏期が比較的冷涼な高標高地における栽培について、昭和60年に「標高別定植時期」として普及奨励に移している。

一方6～7月がやませにより冷涼となる久慈を中心とした県北部沿岸地域では、ほうれんそうに次ぐ作物として宿根かすみそうをとりあげ試作展示を行っており、栽培農家面積が徐々に増えてきている。

そこでやませ地域での宿根かすみそうの定植時期について検討したところ成果が得られたので指導上の参考に供する。

2 技術内容

1) やませ地帯における定植時期（挿し芽苗利用）は他の平場地帯に比較して約1ヶ月遅らせることが可能である（標高450m地帯の品質に相当）。

2) やませ地帯における定植時期（挿し芽苗利用）

作 型	定 植 時 期	開 花 期	到花日数
夏どり	4月下旬～5月中旬	8月上～中旬	100～110
初秋どり	5月下旬～6月中旬	8月中～9月上旬	90～100

3) 適応地域

県北沿岸部（やませ地帯）

3 指導上の留意事項

1) 対象品種はブリストルフェアリーとする。

2) 雨よけ栽培を前提とし、雨よけ開始は出らい期以降とする。また7月下旬以降やませの吹走が少なくなるのでハウスはできるだけ全開とし温度低下に努める。

3) この作型は2年株でも適用可能である。

4) 摘心時期は鉢上げ後10日前後とする。

5) 定植時期の早限は平均気温が10℃以上の時期とする。

4 当該事項にかかる研究課題名

冷涼地における宿根かすみそうの生育特性と地域適応性の解明（中核研究）

5 参考文献、資料名

1) 昭和60年度 普及奨励事項

2) 昭和60、61年度 岩手園試高冷地開発センター試験成績書

3) 昭和62年度 岩手園試高冷地開発センター試験成績書

6 試験成績の概要

表-1 生育及び到花日数

年次	定植月日	定植1ヵ月後		採花 初め	採花 終り	平均 採花日	到花 日数
		草丈	節数				
61	5.15	14.1cm	9.2節	8月4日	8月18日	8月18日	115日
	6.16	18.3	9.1	8 18	10 22	9 2	99
	7.16	32.3	15.4	9 12	10 22	9 30	97
	8. 4	22.1	15.3	11 26	11 26	11 26	134
62	5.28	21.5	11.5	8 4	8 25	8 12	83
	6.17	48.6	16.4	8 4	9 9	8 18	86
	7.17	20.2	14.1	11 4	11 26	11 4	133
	8. 1	15.3	12.8	11 26	11 26	11 26	134

表-2 収量調査

年次	定植月日	切花長	節数	切花重	開花 枝数	未開花 枝数	未抽台 枝数	採花 本数	a当り 採花本数
61	5.15	89.6cm	14.7節	55.4g	5.7本	1.6本	0.3本	3.0本	798本
	6.16	75.0	17.9	60.7	6.1	2.3	0.6	2.3	612
	7.16	80.9	17.0	80.0	5.2	2.6	0.1	2.4	638
	8. 4	88.1	19.5	73.4	1.1	5.6	3.1	1.4	372
62	5.28	102.9	17.1	128.6	9.2	0.1	0.0	3.0	798
	6.17	92.4	20.4	87.4	7.7	0.9	0.1	2.6	692
	7.17	93.0	22.8	126.4	3.4	1.7	0.9	1.2	319
	8. 1	87.3	25.3	103.0	0.3	4.7	4.0	0.3	80

表-3 品質調査

年次	定植月日	ロゼット		高温障害	茎の強度	総合評価
		低温時	高温時			
61	5.15	微	無	微	強～中	○
	6.16	無	無	少	中	○
	7.16	無	無	甚	中～弱	△～×
	8. 4	甚	—	—	弱	×
62	5.28	無	無	無	強～中	◎
	6.17	無	無	少	中	○
	7.17	無	無	甚	中～弱	△～×
	8. 1	甚	—	—	(弱)	×